

令和 6 年度 実施計画調書

担当部	産業振興部
担当課	商工観光課

施策の大綱	行財政運営の効率化	関連する主な重点施策
施策分野	連携事業	AI・デジタル化を推進する取組み

事業名	あすなろの里AIまちづくり事業	予算科目	一般会計	2	款	1	項	6	目
-----	-----------------	------	------	---	---	---	---	---	---

事業概要	
①目的（目標設定と最終的に何につながるのか）	AIまちづくりコンソーシアムにおける「AI×教育」プロジェクトの一環として、水海道あすなろの里での智能化マイクロモビリティCiKoMaの体験運行を行うことで“AIに触れる・体験できる”機会を提供し、AI教育やキャリア教育を推進する。また、市が取組むAIまちづくりの普及啓発とともに、当該施設の魅力向上も併せて図る取組とする。
②現状（今、どのような状況・課題で、なぜこの事業が必要なのか）	令和5年9月中旬より体験運行を開始する予定で準備を進めているが、開始初期は走路の安全対策の観点から芝生広場の周回コースの1ルートのみである。※R5事業として釣堀回りの走路安全対策工事に向けて調整中。年度内に供用開始を見込む。 当該智能化モビリティは「いつでも・どこでも・どこへでも“意のままに”移動できる」ことが開発コンセプトであり、当該技術をよりイメージしやすく体験いただくためには園内のコースを増やしていく必要がある。また、コースが増えることにより、あすなろの里の利便性・魅力向上に大きく寄与すると考える。
③対象（誰を・何を対象にするのか）	あすなろの里の一般来園者はもとより、小中学生のAI教育の一環として活用いただくことを想定。
④手段（どのような活動・取組みを行うのか、なぜその方法なのか）	当該体験運行事業を行うために以下の取組みを実施する。 1. 体験運行を来園者の多い土日中心に運用するためにドライバーを確保する。 2. 走行コースを増やすために、園路の改修工事を行う。

成果指標					
指標名					単位
搭乗体験人数（累計）					人
現在値		目標値			
令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	最終目標値
0,00		1,000,00	2,000,00	3,000,00	5,000,00

令和6年度	事業内容	令和7年度	事業内容	令和8年度	事業内容
体験運行に係る経費 ・ドライバー人件費 3,000千円 ※3名×週2日 ・需用費 120千円 新走行ルート整備 ・工事費 5,000千円		体験運行に係る経費 ・ドライバー人件費 3,000千円 ※3名×週2日 ・需用費 120千円 新走行ルート整備 ・工事費 5,000千円		体験運行に係る経費 ・ドライバー人件費 3,000千円 ※3名×週2日 ・需用費 120千円 新走行ルート整備 ・工事費 5,000千円	
予算額	8,120千円	予算額	8,120千円	予算額	8,120千円
特定財源	4,060千円	特定財源	4,060千円	特定財源	4,060千円
一般財源	4,060千円	一般財源	4,060千円	一般財源	4,060千円

財源	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 事業の削減・見直し	<input checked="" type="checkbox"/> その他
	<small>本田技術研究所からの行政財産使用料（AIモビリティパーク紫峰など）をコンソーシアムに係る経費の財源と考える。また、当該コンソーシアム運営事業とプロジェクト事業費を「常総AIまちづくり推進プロジェクト」としてパッケージ化し、企業版ふるさと納税を募る。</small>		
他との連携	<input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と連携できる可能性がある（他課含む）		<input type="checkbox"/> 関連施策なし
	▶ 事業名（アウトドアシティ構想） 連携内容について簡易に記述してください 本事業を推進することであすなろの里のプロモーションの切り口が増え、施設への誘客促進が期待できる。また、施設への来場者が増えることにより本事業の露出の機会も増え、事業目的の達成に向けた相乗効果が見込める。		